

※当計画につきましては、今後、文化庁及び関係省庁との協議が控えており、協議の状況によっては、御意見を反映できない場合もございますのでご了承くださいますようお願い致します。

No.	パプコメ実施時の頁	御意見の概要	静岡市の考え方	対応方針について	対応後頁
1	第6章 活用計画「環境整備・アクセス」(pp. 103-123)	広域アクセスの抜本的改善：主要駅から山頂への「自動運転シャトル」導入 JR東静岡駅やJR清水駅から日本平山頂までのアクセスを、レベル4相当の自動運転EVバスで結ぶことを提案します。 先日、富士市で実施された新富士駅発着の自動運転実証実験のように、最新技術を導入することで「移動そのものが観光のアトラクション」になります。また、急峻な山道での運転負担を軽減し、二次交通の不足（タクシー不足等）を解消する切り札となります。 世界事例：スイスの「ツェルマット」では、ガソリン車の進入を禁止し、電気自動車や自動運転シャトルのみを認めることで、クリーンな名勝地のブランドを確立しています。	御意見ありがとうございます。日本平へのアクセスや夜間の交通手段の課題について、関係課と情報共有します。	参考意見	/
2	第5章 保存管理計画 (pp. 85-102) および第2章 (pp. 27-44)	景観の「本質」の再生：無電柱化と「富嶽台・望嶽台」の復活 日本平山頂エリアの完全無電柱化を求めます。あわせて、歴史的視点場である**富嶽台（ふがくだい）・望嶽台（ぼうがくだい）**を再興してください。 pp. 45-64（現状と課題）で指摘されている眺望阻害を解決するには、樹木管理だけでなく、人工物（電柱・電線）の排除が不可欠です。 日本事例：三重県伊勢市の「おはらい町」や長野県「小布施」では、無電柱化により景観の質を飛躍的に高め、リピーターを増やしています。	御意見ありがとうございます。徳富蘇峰選定の4つの眺望地点の内の望嶽台については、今後名勝範囲への検討をし、活用したいと考えております。また富嶽台の活用についても、所管課と情報共有します。無電柱化については、公園整備の中で富士山方向の景観を阻害する電柱電線について一部実施中であり公園整備担当課へ情報共有します。	一部意見反映	p112, 113
3	第6章 活用計画「教育・普及・体験」(pp. 103-123)	体験型コンテンツ：五感で日本平を感じる「アナログ・プレミアム」体験 デジタル（VR/AR）に頼りすぎない、**「五感に訴える体験」**の拡充を提案します。 フィールド・ラウンジ：ノルウェーの観光ルートのように、景観を「静かに楽しむ」ためのデザイン性の高い木製ベンチや東屋を富嶽台等に設置する。 テロワール体験：日本平の土壌（有度丘陵）と気候が育む「お茶」や「みかん」の収穫・加工を、歴史（徳川家との縁など）と共に体験するプログラムの常設。 世界事例：イタリアの「アグリツーリズモ」では、その土地の風景と食、歴史をセットで体験させることで、高付加価値な観光を実現しています。	御意見ありがとうございます。コンテンツのアイデアについて関係課と情報共有します。	参考意見	/
4	-	日本平に高度外国人材の確保を目的として、インターナショナルスクールの誘致がされるとなると治安が心配である。すでに東静岡にほぼ外国人のみの学校がある。学校終了時には大量の自転車。そうすると日本平のあの道に大量の自転車が発生すること、または自動車であってもいままで通りのアクセスが難しくなる。インターナショナルスクールの設置ありきで日本平の名所活動がすすめられると思わない。名勝日本平を優先して、インターナショナルスクールは設置しないのが良い。	御意見ありがとうございます。インターナショナルスクール関係課へ情報共有します。	参考意見	/
5	第5章 現状と課題 (pp. 107-111) 第6章 保存・活用の理念と基本方針 第2節 保存と活用の基本方針 (pp. 124-125) 第7章 保存管理 (pp. 126-133)	本計画について、はじめて拝見させていただきました。 課題に挙げられている「悪天候時でも名勝日本平を体験できるしかけがない」や「車でしか来れない」といった件とあわせ、「ホテルや東照宮、テラスといった周辺施設との面的連携」や「絶景をキラーコンテンツとした施設」を検討されているとのことですが、基本方針にある「良好な形で未来へ継承するための保存活用策」に対する本計画の方針からは『コスト』や『悪天候対策』の観点が見えませんでした。 第7章保存管理から大規模な土地改良による公園化ですが、維持するためのランニングコストや悪天候対策をどのように行うのでしょうか。私からのアイデアの一つとしては、海山の景観が良く、四季折々の変化を楽しめ、周辺施設と連携でき、風が強く、冬寒く、美味しい食材も豊富で、市内外からも通いたくなる施設として『お風呂施設』を提案します。山梨県にあるほったらかし温泉のように平日でも多くの方が訪れ、1,000円前後の費用を払っていただけ、食事やお土産も購入していただける施設です。 または、老若男女が水着で過ごせる施設。プールではなく、お風呂のような空間と外の広場（芝生か、ビーチのような砂）を行き来できる作りであり、室内は夏に水風呂、冬に温かい湯にかえます。体温を整えたかったら、外にでてゆっくり涼んだり、水遊びができる“山の上のビーチ”も話題にできるかもしれません。 さらにもう一つ、禅の部屋。座禅ができる部屋で静岡茶付。眺望とひと時の平穏を提供します。アロマの部屋や音楽のある部屋等に分けても面白いと思います。子育て中で自分の時間の取れない女性や外国の方に利用してもらえるように工夫をしたらいいと思いました。マッサージやヨガ、トレーニングルームもつけていけば、客層が増やせそうです。また、伝統工芸品を使うことで、丸子の施設にも案内することまでできます。市の施設ですが、1,000円前後にするのは、人件費や建物の維持費だけでなく、名勝日本平を保全するための費用として集められればいいと思います。  イベントであれば、虫取りや自然のものを拾って作る工作、ヤギやウサギ等との触れ合い体験、バーベキューやキャンプ、音楽フェス、ハイキング、天体観測、ドローン、オリエンテーリング、里山トレイル、スケッチ、撮影会、鯉のぼり、紙飛行機などを開催してほしいです。  より魅力的な場になるよう応援しています。	御意見と応援ありがとうございます。今後の公園整備におけるコストと悪天候対策、様々なコンテンツやイベントのアイデア等については、公園関係課と情報共有します。	参考意見	/